

2023年5月21日

患者の皆様へ

おゆみの中央病院
リハビリテーション部

現在、おゆみの中央病院リハビリテーション部では、今後のリハビリテーションに役立てることを目的に脊椎圧迫骨折に対するデータ収集・研究を行っています。この研究では、当院の脊椎圧迫骨折の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「当院の脊椎圧迫骨折入院患者における退院時身体機能とその影響因子についての検討」

2. 研究の意義・目的

「脊椎圧迫骨折患者の二次骨折予防への取り組みに向け、退院時の身体機能とその影響因子について検討し、脊椎圧迫骨折患者に対するリハビリテーションの現状と課題を明らかにする。」

3. 研究の方法

入院時・退院時における医学情報（身体計測情報、血液検査情報、身体機能情報など）や脊椎機能評価のアンケート結果などを個人が特定できない状態で抽出する。抽出した情報を用いて評価・分析を行う。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、匿名化して収集した上で、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは本研究の責任者（おゆみの中央病院リハビリテーション部 小原来夢）あるいは共同研究者が解析し、研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、個人が特定できない状態とし、紙媒体のデータはおゆみの中央病院の鍵のかかる棚で保管し、電子データは、電子データ・パソコンともにパスワードで鍵をかけた状態で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

< 研究実施機関 > : 医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院
< 本件のお問合せ先 > : リハビリテーション部 理学療法士 小原 来夢
043-300-3369（内線7302）